



号 外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

がんばろう 東日本大震災復興と
NIPPON 日本の再生に向けて
～みんなでがんばろう!～

内閣委員・文部科学委員・拉致特別委員

衆議院議員

民主党神奈川県第14区
総支部 総支部長

もとむら けんたろう
賢太郎

もう、相模線は止まりません。

計画停電時、運休回避。配電改良工事完了

計画停電が行われた3月14日から27日まで、約2週間にわたりJR相模線は、ほとんどの区間が運休し皆様にご迷惑をおかけいたしました。踏切や信号機の電気を東京電力から直接供給を受けていたのが原因でした。相模線は、茅ヶ崎駅～橋本駅間33.3キロ、合計83踏切の内、24の踏切が相模原市内にあります。

沿線の皆様から運休回避のご要望を多数頂戴いたしました。JR東日本に対し、早期の電力供給ルート、電力系統の変更工事を加山としお相模原市長と共に申し入れさせていただきました。結果、6月7日までにJR東日本では、電源系統を変更し、配電線を整備する工事を完了しました。仮に計画停電があった場合でも、生活に必要な相模線が運休することはなくなります。

今後も市民の声を皆様と共に発信してまいります。

相模線の複線化・小田急多摩線延伸・
リニア中央新幹線建設促進・さがみ縦貫道路の整備など
公共交通網の整備を応援していきます。

相模原から
日本を変える!

もとむら賢太郎プロフィール

- 相模台幼稚園・市立桜台小・相模台中・県立麻溝台高校・青山学院大卒。
- 本村和喜参議院議員秘書、東鉄工業㈱、藤井裕久代議士秘書。
- 平成19年県議会議員選挙にて、35,462票で2期目当選(トップ当選)。
- 平成21年8月衆議院議員選挙にて、157,644票で初当選を果たす。
- 地域活動・相模原自衛官募集相談員・相模原シティライオンズクラブ

配電改良工事完了!

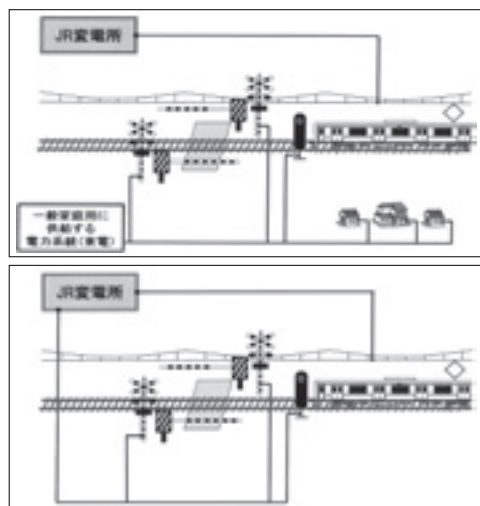
○今までの相模線

信号や踏切の電源は変電所を通さず、直接、東京電力から供給を受けていました。



○工事完了後の相模線

変電所の電気を信号や踏切にも供給できるように改良しました。



一緒に日本を再生させましょう。

もとむら賢太郎後援会では毎月、岩手県・宮城県・福島県などの被災地へ支援物資をお届けしたり、有志の皆さんと共にボランティア活動など被災地支援活動を展開しております。

現場第一主義で、しっかりと被災地を肌で感じ、国政にいかしてまいります。



有志の皆さんと泥はき作業



避難所生活の現状をお聞きしました

日本人魂を学びました

訪問の際、震災でご家族を亡くし、住居を無くした方々に、何かお困りの事はありませんかとお声かけしたところ『私たちより困っている人がある。もっと困っている人たちを助けてあげてください。』とお話いただきました。

自分の事より人の事を思いやる日本人魂を学び、これからの日本を担う仲間として、思わず涙がこみあげてきました。

この想いを胸にしっかりと刻んで、復旧復興支援に全力で取り組みます。



気仙沼市の若者達に
文房具・中古自転車をお届け

相模総合補給廠返還実現に大きく前進!!

平成23年2月25日予算委員会分科会 質問

相模総合補給廠一部返還(2^{ヘクタール} + 15^{ヘクタール})

国は、昨年の2^{ヘクタール}部分と同様にもとむら賢太郎議員の国会質疑に答えるかたちで初めて15^{ヘクタール}部分の具体的な返還時期を示しました。

【質問 もとむら賢太郎(抜粋)】

相模原市はキャンプ座間、そして相模総合補給廠、相模原住宅と、三つの米軍基地がございまして、その三つの基地、ほとんどが相模原市の中心地である市街地に集中しておりまして、その面積は446^{ヘクタール}と大変大きな基地負担をこれまでしてまいりました。

平成18年5月1日の日米ロードマップを受けて、平成20年6月6日には、日米合同委員会におきまして、在日米軍相模総合補給廠の一部返還(2^{ヘクタール} + 15^{ヘクタール} = 17^{ヘクタール})の合意がなされております。まず、この相模総合補給廠に関して、お伺いします。

昨年この15^{ヘクタール}部分の家族住宅、保育園、コミュニティー支援センター、倉庫等々がキャンプ座間や相模原住宅に移設をされる、その移設をされることによって返還が見えてくるだろうというお話もいただいていたわけではありますが、相模総合補給廠の一部返還(17^{ヘクタール})のうち15^{ヘクタール}に関して、早期ということではありますが、市民の強い要望でありまして、日米合同委員会から3年を経ようとしております。昨年は、この2^{ヘクタール}部分の鉄道・道路用地の返還を3年、4年後に、防衛省の皆さんの御努力によって米軍との調整を進めていただけたというお話もいただいておりますが、この15^{ヘクタール}部分の返還についてできましたら、この見通し、時期等々を含めて、もう一度御答弁をお願いしたいと思います。

【答弁 防衛省地方協力局長 井上政府参考人(抜粋)】

お答えします。予算の措置があるわけでございますので、今ここに確約というようなことを申し上げるようなことは困難かというふうに思っておりますけれども、**今の委員会のご要望、御意見等踏まえまして、可能であれば、3年、4年程度の中で実現できるように努力をさせていただきたいというふうに考えているところであります。**

◎ご意見・ご要望をお知らせください。

もとむら賢太郎事務所【毎日 午前9時～午後6時まで】

〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺4-15-1 相模原総合卸売市場E棟7号 TEL 042(768)9055 FAX 042(768)9066

■ホームページ <http://dpj-kanagawa14.jp/motomura/> ■メール motomura@dpj-kanagawa14.jp



3度にわたる再質問のすえ、
返還時期の答弁を
引き出しました。

